

向日庵保存へ重要性訴え



向日庵の文化的価値に関する講演を聞く参加者たち
(向日市上植野町・西向日コミュニティセンター)

住民らNPO設立の集い

英文学者の故寿岳文
章氏(1900〜92年)が向日市内に構えた邸宅「向日庵」の保存に向け、NPO法人で、設立の集いを開

設立を計画する地元住民らが30日、西向日コミュニティセンター(同市上植野町)

た。法人の名称は「向日庵」。設立総会も同日に行い、8〜9月にNPO法人として認可される見通しという。

約80人が参加した集いでは、寿岳一家の業績に詳しい中島俊郎・甲南大文学部教授(英文学)が「文化遺産としての向日庵」と題して講演。民芸運動や和紙の調査などでも著名な文章氏や翻訳家の妻故しづ氏ら一家の功績を振り返り、向日庵を発信の場として、未来

へ引き継いで行く重要性を訴えた。

また今後の取り組みについて、寿岳一家に関する資料の調査や向日庵の公的施設としての活用に向けた募金活動などの計画が報告された。(本田貴信)

